情報提供資料
報道関係者各位

笠間市
KASAMA

笠間市役所
令和8年11月2日（月）

取材・記事掲載依頼

笠間市立みなみ学園義務教育学校
第3回セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業

日時：11月4日（水）　午前9時30分～10時30分

場所：みなみ学園義務教育学校 イングリッシュルーム（旧校舎2階）（笠間市北吉原15）

みなみ学園ではセブン-イレブン・ジャパンと連携しSDGsフードロス対策×地産地消推進をねらいとした小学生による商品開発プロジェクトを実施しています。

フードロスは解決するのか？　地産地消って必要なのか？
6年生児童が商品を開発
開発商品の完成品を披露
完成品を山口市長が試食します
～開発商品を県内店舗で販売・茨城県初の取り組み～

1　取り組みのねらい

①セブン-イレブン・ジャパンと連携した商品開発・実店舗販売活動を通して、**地産地消の意義や、フードロスの問題を自分事としてとらえ解決しようと実践する態度を育てる。**

②社会課題・地域課題を見出し、探求し解決する活動を通して、**課題を見つける力・課題解決力・意思決定力を向上させる。（アントレプレナーシップの育成）**
※めまぐるしく変化する社会の中で、課題を見つけ、他者と協働して新しい価値を創造する力を育てる。

2　対象児童

みなみ学園義務教育学校　6年生児童　18名

3　事業概要

セブン-イレブン・ジャパンと商品開発を行い県内の店舗で販売する。

①給食センターの見学による、残菜の確認、地産地消に対する質問→課題づくり（6月9日）
②セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業1 【課題から商品を開発する（6月18日）】
「ミッション　フードロス対策・地産地消推進をねらいとした商品を開発せよ!」
③セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業2 【商品案を関係者にプレゼン（7月16日）】

④セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業3 【完成品試食（11月4日 今回の実施内容）】
午前9時30分　参加者紹介・振り返り　　午前9時40分　フェア概要・商品説明（試食）
午前9時50分　児童感想発表　　午前9時56分　市長および教育長コメント
午前10時05分　総括
（セブン-イレブン・ジャパン　福島・茨城ゾーン ゾーンマネジャー中島 正寛（なかじま まさひろ）さん）
午前10時10分　店頭販売会スケジュール説明、グループワークなど　　午前10時30分　終了

⑤セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業4 【県内の店舗で販売（11月中予定）】
⑥セブン-イレブン・ジャパンとの連携授業5 【振り返り・課題再設定（令和9年1月予定）】

この件に関するお問合せ
笠間市立みなみ学園義務教育学校　担当：川松（かわまつ）
〒309-1624　茨城県笠間市北吉原15
電話番号：0296-72-1385　ファックス番号：0296-72-1896　e-mail：710401@sch.ibk.ed.jp